

3年生学年便り

平成28(2016)年10月11日
第31号
吹田市立第二中学校第三学年

学校行事は何のためにあるのか…

先週の金曜日に体育祭が終了し、文化祭と合わせた「学校祭」の取組が終了しました。準備や練習などの忙しさもなくなり、3年生は「行事の前期」から「自分探しの後期」へ歩みを進めて行くこととなります。行事が終わったとき「完全燃焼した。」なんていう言葉をよく聞きます。たしかに、大道具の製作に熱中したり、全員リレーの練習に汗を流したり、学校祭へ向かうみなさんの姿は本当に素晴らしかったです。保護者や地域の方々、下級生にも感動を与えました。

しかし、本番を終えても、みなさんの中学校生活は続いていきます。

そこで、学校行事の目的について、少し考えてみようと思います。

学校は、様々なことを「学ぶ」場であることは、みなさんも理解していると思います。教科の授業だけでなく、道徳や総合的な学習、特別活動などを通じて学び、成長して欲しいという願いが詰まった場所なのです。

みなさんの「学び」は、きちんと守られているのを知っていますか？

公立中学校であれば、全国どこの学校に入学しても、一定水準の教育を受けることができます。その学びの内容は、学習指導要領というものに規定されていて、それは法律で守られています。

学習指導要領を読むと、「学校行事」は、特別活動の中に書かれていて、その目標は次のようになっています。

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を身につける。

わかりやすい言葉に変換してみましよう

中学生のみなさんは、仲間と協力して、修学旅行や文化祭、体育祭の取組を経験するなかで、喜びや苦勞を分かち合いながら、同じ目標に向かって努力を重ね、共に励まし合いながら、信頼し支え合う雰囲気、学年や学校に作り上げていって欲しい。自分のことだけでなく、まわりの人たちのことも考えて行動し、学校行事を経験する前よりも、さらに安心で、充実した生活を送ることができる学校を、自分たちの力でつくりあげてほしい。

そんなメッセージが、学校行事には込められています。

学校行事は、決してゴールではありません。まだ、続きがあるのです。



体育祭はゴールではない。
70期生の物語は、続いていく…